

※無回答や重複回答の項目があるため、合計数字は一致しない。

	小学校	中学校	特支（小）	特支（中）	特支（高）	その他		
問1 学校種別	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答	計
	0	49	0	0	0	0	0	49

その他

	特別支援教 管理職	育コーディ ネーター	その他		
問2-1 職種	①	②	③	無回答	計
	17	32	1	0	50

その他

特別支援（知的障害）学級 担任

	6ヶ月未満	1年未満	3年未満	5年未満	10年未満	10年以上	経験なし		
問2-2 経験年数	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	無回答	計
	0	2	9	4	12	19	2	1	49

	YES	可能性あり	NO		
問3 発達障害児童生徒の在籍	①	②	③	無回答	計
	46	2	1	0	49

	YES	NO		
問4 専門職の特性調べ把握	①	②	無回答	計
	47	1	0	48

副問4-1 特性 把握方法	行動観察	聞き取り	関係機関か ら引継ぎ	その他	無回答	計
	①	②	③	④		
その他	44	43	38	1	0	126

小学校との情報の引継ぎ

問5 検査を行い 活用	両方実施	活用のみ	活用せず	無回答	計
	①	②	③		
	4	40	4	0	48

MSPA

副問5-1 検査 (MSPA)	①
	2

副問5-1 検査 (知能・発達)	WISC	WAIS	田中ビネー K式	K-ABC	DN-CAS	遠城寺式	ホーテジP	
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
	33	1	38	0	1	1	1	0

副問5-1 検査 (適応行動)	Vineland S-M	ASA	
	①	②	③
	2	31	0

	SDQ	CBCL	ABC-J	感覚7 ^o 7
副問5-1 検査 (情緒と行動)	①	②	③	④
	1	0	0	0

	M-CHAT	PARS	CARS	ADOS	AQテスト	PEP-3	TTAP	ADI-R
副問5-1 検査 (自閉症スペクトラム)	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
	0	0	0	0	1	0	0	0

	ADHD-RS	CAARS	LDI-R	CRT	音読検査	ITPA	PVT-R	JMAP	JPAN	無回答	計
副問5-1 検査 (その他)	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨		
	2	0	2	5	0	0	0	0	0	0	121

	YES	NO	無回答	計
問6 特性把握	①	②		
	47	1	0	48

	行動観察	聞き取り	関係機関から引き継ぎ	その他	無回答	計
副問6-1 特性把握方法	①	②	③	④		
	44	42	39	1	0	126

その他 小学校との引き継ぎ

YES NO

問7 手立て

①	②	無回答	計
48	0	0	48

スケジュール・カレンダー 予定変更の 事前確認 コミュカド[®]等 場所の区分 手順表 作業区分、休憩・確認 手帳・メモ イヤーマフ等 カムカムエリア 人に頼む、得意に集中

副問7-1 手立て種類

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
45	41	16	11	14	19	14	7	32	11

周囲と関わる練習 周囲に特性を伝える その他

⑪	⑫	⑬	無回答	計
31	18	1	0	260

その他

YES NO

副問7-2 ツール

①	②	無回答	計
42	6	0	48

コミュカド[®] 筆談 スケジュールボード等 スマホ・タブレット PC VOCA タイムタイマー イヤーマフ サングラス その他

副問7-2-1 ツール種類

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	無回答	計
15	12	37	24	9	0	24	6	0	1	0	128

その他

タイムスケールの活用

YES NO

副問7-3 難しさ

①	②	無回答	計
36	11	1	48

正しいやり方不明 相談・指導者不在 毎日億劫 準備時間ない 行動変ない 他の人と違って抵抗 話せば分かるのでは その他

副問7-3-1 どのようなことに難しさ

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	無回答	計
18	12	2	8	16	6	5	2	0	69

その他

継続的に支援を行っているが、気分で出来たり出来なかったりするので、支援方法を模索しながら行っている。
個別の配慮に対する周りの生徒の理解や本人の障害受容。

YES NO

問8 必要な手立て
で支援者と連携

①	②	無回答	計
44	4	0	48

予定あり 予定なし 希望だがどうすれば

副問8-1 連携
予定

①	②	③	無回答	計
0	3	1	0	4

YES NO

問9 専門機関
からの指導

①	②	無回答	計
37	11	0	48

希望だご
うすれば
予定あり 予定なし

副問9-1 指導
予定

①	②	③	無回答	計
1	10	0	0	11

YES NO

問10 相談相手

①	②	無回答	計
48	0	0	48

医師 看護師 シャルワーカー
病院のソーシャルワーカー
病院の心理職
発達障害専門機関職員
相談支援専門員
福祉サービス支援者
教育委員会
学校の教員
スクールカウンセラー

副問10-1 相談相手種類

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
11	0	2	5	19	9	10	23	36	39

スクールソーシャルワーカー
当事者・家族会
家族
その他

その他

⑪	⑫	⑬	⑭	無回答	計
0	31	2	23	0	210

YES NO

問11 教育支援
計画

①	②	無回答	計
46	2	0	48

心療心理士

	YES	NO		
副問1 1-1 定期的見直し	①	②	無回答	計
	39	2	5	46

	YES	NO		
副問1 1-2 本人・家族が意見	①	②	無回答	計
	32	10	4	46

	YES	NO	わからない		
問1 2 専門手法	①	②	③	無回答	計
	25	13	7	3	48

	TEACCH ABA	PECS	感覚統合療法	SST	動作法	その他	よくわからない			
副問1 2-1 専門手法の種類	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	無回答	計
	11	8	2	2	21	3	1	0	0	48

その他 正式な手法通りではないと思いますが、選択肢の手法を部分的に取り組んでいます。

	予定あり	予定なし	希望だがどうすれば		
副問1 2-2 専門手法予定	①	②	③	無回答	計
	3	3	7	0	13

	YES	NO		
問13 強度支援	①	②	無回答	計
	17	29	2	48

	予定あり	予定なし	希望だがど うすれば		
副問13-1 強度支援予定	①	②	③	無回答	計
	2	21	4	2	29

	大声奇声	自傷	破壊	他害	多動	停止反復	昼夜逆転	異食	排尿排便	その他	無回答	計
問14 困る行動	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩		
	6	4	7	5	8	6	3	0	0	0	3	42

その他

	YES	NO		
問15 強度手立て	①	②	無回答	計
	14	1	2	17

	スケジュール・カレンダーで提示	予定変更の事前確認	理解できる方法で意思確認	コミュニケーション等で本人が伝達	コミュニケーション等で本人に伝達	場所の区分	手順表	代替等	トークシステム	カメラエリア
副問15-1 強度手立て種類	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
	11	11	12	3	1	2	4	0	1	13

性別・年齢に
合わせた対 接触回避 その他
応

	⑪	⑫	⑬	無回答	計
	7	4	0	0	69

	YES	NO		
副問15-2 強度ツール	①	②	無回答	計
	12	2	0	14

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	無回答	計
副問15-2-1 強度ツール種類												
	5	4	9	7	0	0	6	0	0	1	0	32

その他 本人がパニックに陥った時、そっとしておくことを学級全員に周知徹底している。

	YES	NO		
副問15-3 強度手立て難しさ	①	②	無回答	計
	11	2	1	14

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	無回答	計
副問15-3-1 どのようなことに難しさ											
	6	2	1	2	7	3	4	1	1	0	27

その他 教員側の人員不足

YES NO

問16 過去1
年のパニック

①	②	無回答	計
10	7	0	17

大声奇声 自傷 破壊 他害 多動 停止反復 昼夜逆転 異食 排尿排便 その他

副問16-1 パ
ニックの状態

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	無回答	計
6	3	5	2	2	5	0	0	0	1	0	24

その他 2時間程度の意識喪失

YES NO

副問16-2 パ
ニック理由判明

①	②	無回答	計
9	1	0	10

急な予定変 言いたい事 要求通らず 相手の行動 相手の言う 不快な感覚 苦手頑張り 嫌な体験思 その他
更 伝わらず 期待外 事分らず 疲れ い出す

副問16-2-1
パニック理由の
内容

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	無回答	計
4	5	6	3	3	1	2	2	1	0	27

その他 移動教室で、普段と学習の場が違った。

静かな別の 家族が本人 ツールを渡 苦手な刺激 頓服薬 本人の要求 身体抑制 警察 家庭引取り 精神科緊急
部屋 から距離 す 止める 受入れ

副問16-3 収
まる方法

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
10	3	1	0	1	0	3	0	5	0

短期入所 その他

⑪	⑫	無回答	計
0	1	0	24

その他

救急車で総合病院に搬送した。

YES NO

問17 強度研修

①	②	無回答	計
1	16	0	17

支援者養成 つばさ主催 つばさ機関
研修 研修 コンサル その他

副問17-1 強度研修内容

①	②	③	④	無回答	計
0	0	1	0	0	1

グループ

精神科病院 短期入所受 ホーム等地 居宅介護等 定期的コン 複数機関と 個室確保・整 人員増・雇用 人材育成研
受け入れ先 け入れ先 域の暮らし の在宅支援 サル 家族の連携 備 確保 修
の場

問18 必要な支援体制

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	無回答	計
3	3	1	0	6	6	5	7	6	4	41

ご意見・ご要望
について

・各学校に1名、特に特別支援学級の配置されていない学校には、専任で特別な支援を必要とする子どもたちに対応できる教員を配置してほしい。

就学相談会で特別支援学校（知的）措置が適当と判断されても、保護者の意向で特別支援学級に中重度の生徒が入ってきます。8人に一人の担任なので、支援に限界があります。支援学校と支援学級のあり方をしっかりと説明して、保護者の思いだけにとどまらず、将来自立するためにどの方向に進むべきかしっかりと面談をお願いしたいと思います。個に応じた授業には限界があるので、強度行動障害がある生徒が支援学級に籍を置く場合は人員や、部屋の確保まで考えていただきたいと思います。

本校では、専門知識を有する職員が担当しているとは限らないため、毎年手探り状態でスタート関係機関等の支援のもとなんとか乗り切っているのが現状です。ハード面がより充実すれば、より一層個に応じた支援ができるのではないかと思います。今後ともご指導・ご支援の程よろしくお願いいたします。

発達障害者支援については、家族を含む周りの人が知識を得て理解することが大切だと思います。また、関係機関との連携をとりながら、より多くの人々が支えていく体制を整えることが必要だと思います。

管理職のリーダーシップの下、職員一人一人が自分意識をもつことが大切だと考える。また、職場内外の研修を通して、具体的な指導や支援に関する知識を常に更新していく必要があると思う。